

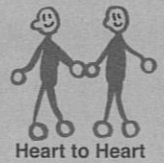
ともしび通信

コープともしびボランティア振興財団

〒658-0084 兵庫県神戸市東灘区甲南町2丁目1番20号(コープリビング甲南2階)

TEL078-412-3930 FAX078-412-3871

発行人=竹本 成徳 編集人=秦 正雄



Heart to Heart

第47号

2006年4月発行

10年にありがとう これからもごいっしょに
～募金はだれでもできる ボランティア活動です～

コープともしびボランティア振興財団はみなさまに支えられて10周年を迎えました
6月1週「コープハローウィーク」でのコープともしびボランティア募金にご協力ください!!

阪神・淡路大震災で、「ボランティア元年」とまでいわれたボランティアへの熱い思いや社会的役割を、一過性のものにせず、ふだんの暮らしの中で根付いていくように、また、兵庫県内のボランティア活動を幅広く継続支援していけるようにと、コープともしびボランティア振興財団が設立されて、今年で10年を迎えます。

この間、多くの方々から支援をいただき、地道ながらも、高齢者・障害者支援、子どもたちを対象としたボランティア活動、環境ボランティアなどさまざまな活動への支援をおこなってきました。

とはいえ、まだまだ財団の存在や活動が広く知られていないといえませんが、身近な地域のボランティア支援に活用されます。あなたも、ぜひご協力ください。

◆「コープハローウィーク」期間 2006年6月6日(火)～10日(土)
この期間配布の「めーむ」に折込みチラシが入ります。
この1週間、地域担当者が、訪問の際、集中募金協力の呼びかけをおこないます。

◆募金するには 「めーむ」の注文書の6ケタ「おすすめ欄」に募金の品番が印字されます。募金は注文書に記入ください。

◆募金できる期間 2006年6月13日(火)～7月1日(土)の3週間です。



夏休みを活用し学生・青年向けのボランティア体験学習をコーディネートしています

コープこうべの協同購入、ひまわり(個別配達)利用の組合員のみなさんに、6月第1週「コープハローウィーク」で、集中募金の呼びかけをおこないます。



森林ボランティア
環境保全のための活動をおこなっています

みなさまの募金が、身近な地域のボランティア支援に活用されます。あなたも、ぜひご協力ください。

◆「コープハローウィーク」期間 2006年6月6日(火)～10日(土)
この期間配布の「めーむ」に折込みチラシが入ります。
この1週間、地域担当者が、訪問の際、集中募金協力の呼びかけをおこないます。

◆募金するには 「めーむ」の注文書の6ケタ「おすすめ欄」に募金の品番が印字されます。募金は注文書に記入ください。

◆募金できる期間 2006年6月13日(火)～7月1日(土)の3週間です。

傾聴ボランティアフォローアップ研修を開催

ボランティアとして活動している人を「傾聴」することの大切さ

コープともしびボランティア振興財団では、ここ数年、コープこうべの活動サポートセンターの協力のもと、傾聴ボランティア講座を開催し、各地でボランティアが活動し始めています。

傾聴ボランティアの現場は、対象者と1対1という個人での活動になる場合が多く、活動における壁や悩み、不安を出し合う場が欠かせません。

1月26日(木)、コープカルチャー西宮で、宝塚、西宮、塚口エリアで受講し活動しているボランティアを中心に、講座の講

師でもあった長尾文雄氏(聖マーガレット生涯教育研究所)を招いてフォローアップ研修を行いました。

長尾氏からは、「対人援助活動でかならず起きる『不安』を傾聴することが重要。また、実践がニーズに合っているかどうかを客観的にみるスーパービジョンがこのような活動には必要」とのお話がありました。

参加者には、施設で高齢者、なかには認知症の方の傾聴をしている人、産後うつへの支援を始めた人などもおり、「こん

なにいろんな活動のしかたがあるとわかって、うれしかった」「心の中を飾らずに出せる、こういう場がありがたい」といった声も聞かれました。

同時に、傾聴が困難な事例も出され、お互いの経験を語り、分かちあうことの大切さを実感しました。「ボランティアがひとりぼっちにならないよう、正解はないけれど、みんなでき分かち合おう」という参加者の言葉が印象的でした。

当財団ではこれからも、このような研修を継続していきたいと考えています。